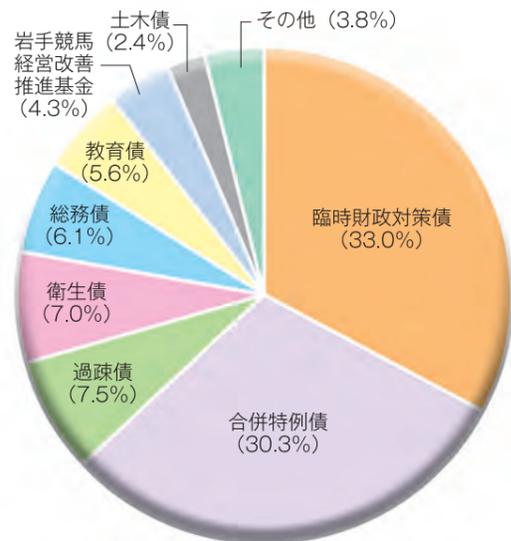


30年度一般会計、特別会計別借入金現在高見込額

(単位：万円)

区分	現在高見込額	
一般会計	706億4,856	
特別会計	国民健康保険（直営診療施設勘定）	2,200
	介護保険（介護サービス事業勘定）	1億8,507
	下水道事業	226億8,382
	農業集落排水事業	117億 332
	浄化槽事業	12億8,543
	バス事業	8,910
合計	1,066億1,730	

図2 借入金現在高見込額の内訳(一般会計)



※臨時財政対策債、合併特例債、過疎債などは、後年度に地方交付税措置されるため、市の実質負担は少ない

図1 市税、借入金の市民の負担状況



用語解説

- 臨時財政対策債＝国の地方交付税財源が不足したとき、地方交付税額を減らして、その穴埋めとして地方公共団体が借り入れるお金
- 合併特例債＝新市建設計画に基づいて行う事業に借り入れることができるお金
- 過疎債＝過疎地域自立促進特別法で定められた過疎地域（本市では江刺地域）で行う事業にのみ借り入れることができるお金
- 総務債＝主に庁舎建設、情報基盤の整備のために借り入れるお金（市が債務保証していた土地開発公社の債務を整理するために借り入れた「第三セクター等改革推進債」を含む）
- 岩手競馬経営改善推進基金＝県競馬組合に資金を貸し付けるための基金を設置する目的で、県から借り入れたお金

すると、市民1人当たりは同額、1世帯当たりは1万円の増となりました。
借入金は、長期にわたって使用される公共施設などを整備するためのものです。返済を長期間に分割することで、世代間の負担の公平性を保ち、財政負担を調整しています。
一般会計の借入金現在高見込額は、返済よりも借入を抑え、着実に償還したことによ

り減少し、29年度より33億円以上少ない706億4856万円となりました。市民1人当たり、1世帯当たりになると図1（下）のようになります。29年度と比較すると、市民1人当たりは2万円の減、1世帯当たりでは8万円の減となりました。目的別の構成比は図2のとおりです。
■問い合わせ先 本庁財政課 財政係（☎34-1766）

30年度収支などを説明

令和元年度（平成31年度から読み替え）の当初予算は、広報おうしゅう4月号でお知らせしました。今回は30年度の収入支出、市有財産、市債の状況などを説明します。詳細は、本庁財政課、各総合支所地域支援グループ、市ホームページで公表していますので、そちらをご覧ください。今回お知らせする財政状況は、現金の未収や未払いの整理を行う出納整理期間（4月1日～5月31日）の分を含ま

ないため、最終的な30年度決算額ではありません。決算額は確定後にお知らせします。
市税は増、借入金は減
31年3月31日現在の市税収入（個人市民税、法人市民税）

財政状況の公表

平成31年3月31日現在の財政状況を公表します。財政状況は年2回公表し、市の財政がどのように運営されているかを、市民の皆さんにお知らせいたします。

30年度一般会計、特別会計収入支出の状況

(単位：万円)

区分	予算額	収入済額	支出済額	
一般会計	609億4,174	520億6,212	481億9,738	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	112億4,498	98億1,273	103億6,552
	国民健康保険（直営診療施設勘定）	1,434	268	1,178
	後期高齢者医療	12億7,927	9億 524	11億3,504
	介護保険（保険事業勘定）	117億 955	96億 362	106億6,240
	介護保険（介護サービス事業勘定）	1億5,384	4,235	1億4,543
	下水道事業	36億7,689	11億4,786	30億1,009
	農業集落排水事業	15億3,198	1億9,158	14億3,758
	浄化槽事業	3億7,110	1億6,271	3億2,853
	バス事業	1億4,542	5,310	1億3,398
	米里財産区	1,079	377	1,069
合計	910億7,990	739億8,776	754億3,842	

市有財産の状況

<p>土地</p> <p>7,893万 4,023.39㎡</p>	<p>建物</p> <p>60万 4,296.03㎡</p>	<p>車両</p> <p>529台</p>	<p>基金・有価証券</p> <p>316億 5,950万円</p>
-----------------------------------	--------------------------------	-----------------------	------------------------------------